

第69回

秋田県統計グラフ コンクール作品集

～ コンクールの概要 ～

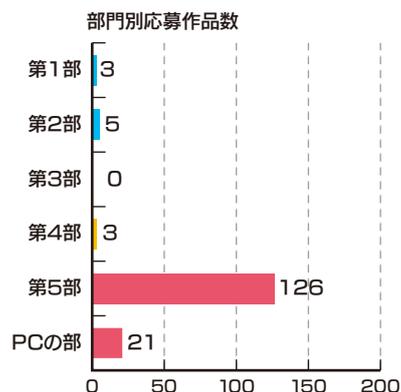
秋田県統計グラフコンクールは、統計に関する知識を広め、統計の表現技術を高めることを目的として実施しており、今回で69回を迎えました。

今年度は158作品の応募があり、審査会において、特選5作品、入選10作品、佳作4作品、努力賞6作品が選ばれました。この中から19作品を第67回統計グラフ全国コンクールに出品し、1作品が入選となりました。

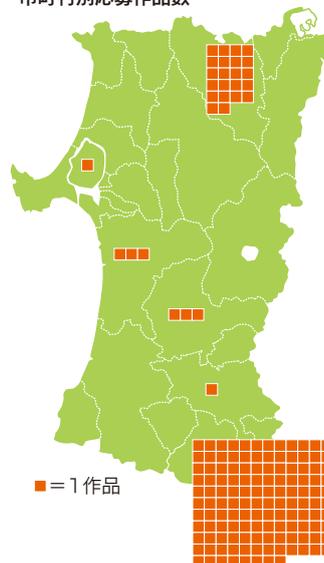
実施結果

(単位:作品、人)

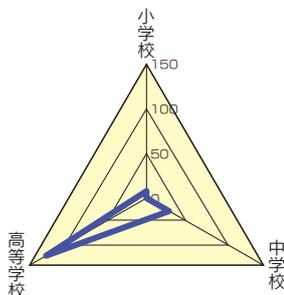
部 門	応募作品	入 賞 区 分					参加賞
		特 選	入 選	佳 作	努 力 賞	計	
第1部 (小学校1、2年生)	3(3)	1(1)	2(2)	-	-	3(3)	-
第2部 (小学校3、4年生)	5(5)	1(1)	2(2)	-	2(2)	5(5)	-
第3部 (小学校5、6年生)	-	-	-	-	-	-	-
第4部 (中学生)	3(5)	1(2)	2(3)	-	-	3(5)	-
第5部 (高校生以上)	126(126)	1(1)	2(2)	2(2)	2(2)	7(7)	119(119)
パソコン統計グラフの部 (小学生以上、一般)	21(27)	1(1)	2(2)	2(2)	2(4)	7(9)	14(18)
計	158(166)	5(6)	10(11)	4(4)	6(8)	25(29)	133(137)



市町村別応募作品数



学校種類別応募作品数



(参考)

区 分	学校数	作品数	人 数
小 学 校	5	8	8
中 学 校	4	21	29
高 等 学 校	2	129	129
計	11	158	166

※第1部及び第2部の一般応募者は小学生に含む

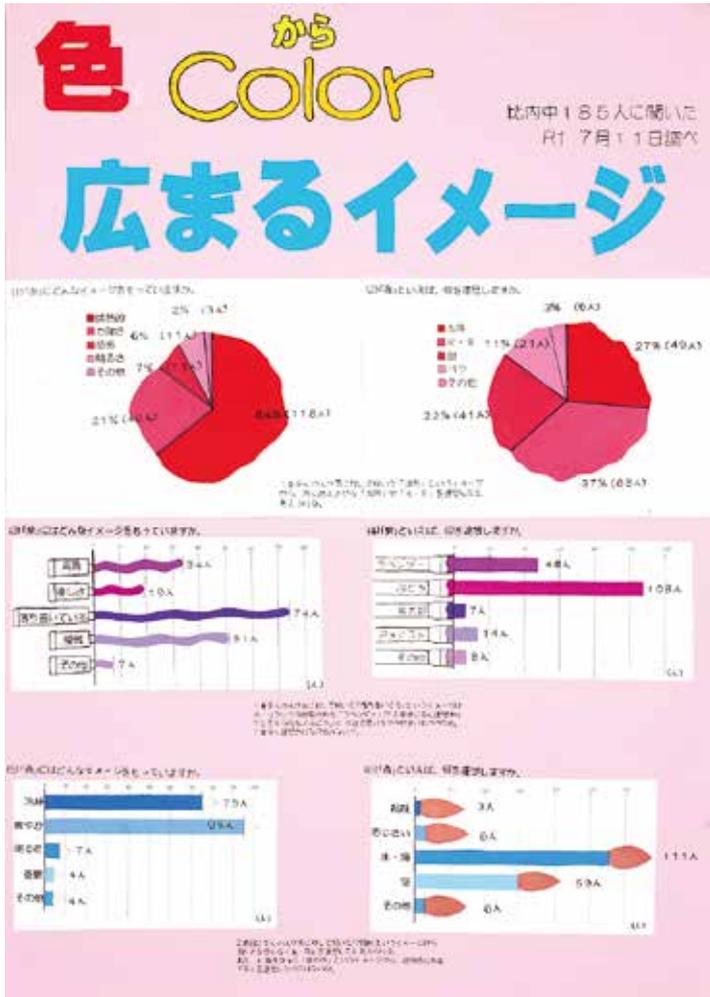
(参考)

市 町 村	作 品 数
湯 沢 市	128
大 館 市	22
秋 田 市	3
大 仙 市	3
仙 北 市	1
大 潟 村	1

※学校所在地の市町村

第4部

(中学生)



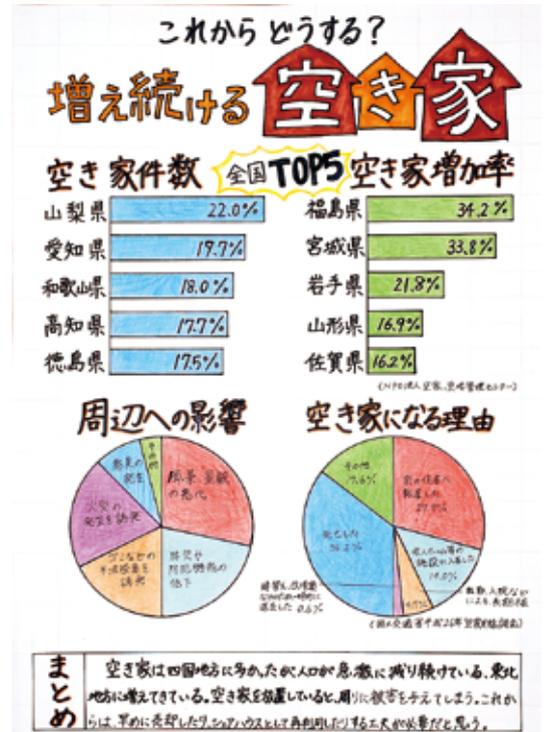
大館市立
比内中学校 3年
さとう あき
佐藤 亜紀さん
ほりぐち れいみ
堀口 怜泉さん

- ・絵の具や鉛筆、筆をグラフデザインに取り入れ、工夫が見られる。
- ・レタリングの完成度が高い。
- ・グラフ系列の並び順を変えると、さらに見やすい。



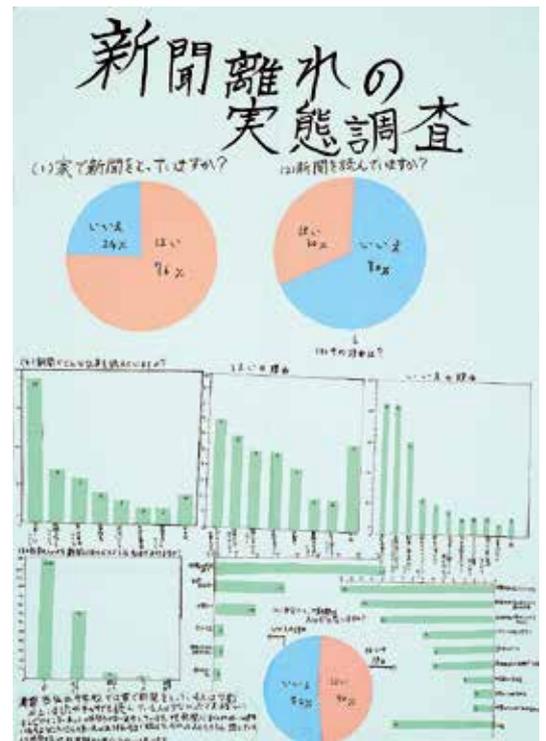
西仙北中学校 1年
さが えりな
嵯峨 恵利菜さん
すがわら みの
菅原 実乃さん

- ・グラフ作成のルールを理解している。
- ・各グラフの文字の大きさや、配置といったデザイン面を工夫すると、さらに見やすい。



大潟村立
大潟中学校 3年
かまた ひより
鎌田 日和さん

- ・空き家をテーマとした理由があると、さらにわかりやすい。



ユニバーサルデザインフード

ユニバーサルデザインフードとは？ グラフから分かったこと①

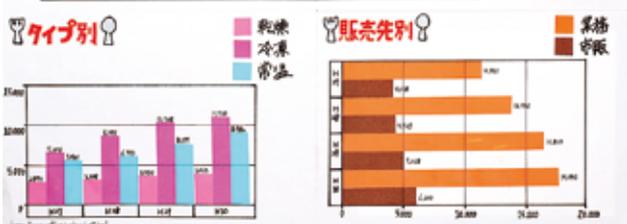
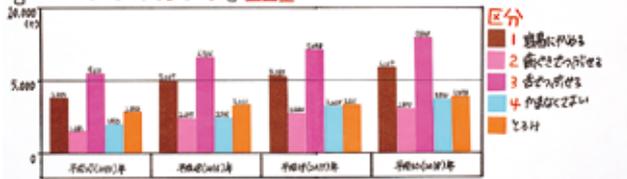
日常の食事から介護食まで幅広くお使いたての、食料がさらに配慮した食品を「ユニバーサルデザインフード」として、食品や栄養食品などの製造加工食品をばらばら、使い分けやお料理に活用して「ユニバーサルデザインフード」として活用されています。

生産量は274,174t(前年対比10.5%増)、引き継ぎ好意に推移し、うち「栄養強化」については、数量151,730t(同11.4%増)、UDF全体の伸びを上回って推移しています。

全成分と水分と、栄養素、糖質用を合わせた全体の区分別生産量は「各々の割合(%)」が最も多い、割合を「最も多い(%)」、次に「次で多い(%)」に示してあります。近年では「水分」に示してあります。これは、水分の割合が最も多い(%)、次に「次で多い(%)」に示してあります。これは、水分の割合が最も多い(%)、次に「次で多い(%)」に示してあります。

区分	生産量(t)	前年対比(%)
水分	274,174	10.5%
栄養強化	151,730	11.4%

ユニバーサルデザインフード 生産量



秋田県立
湯沢翔北高等学校 1年
やまだ みずき
山田 瑞稀さん

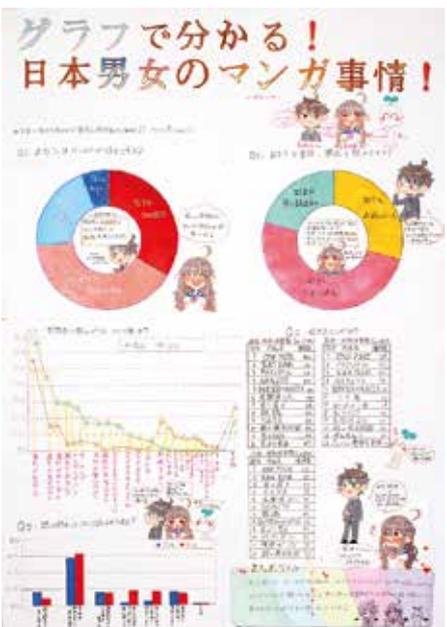
- ・レタリングに工夫が見られる。
- ・テーマ設定の背景があればなお良い。

第5部 (高校生以上、一般)



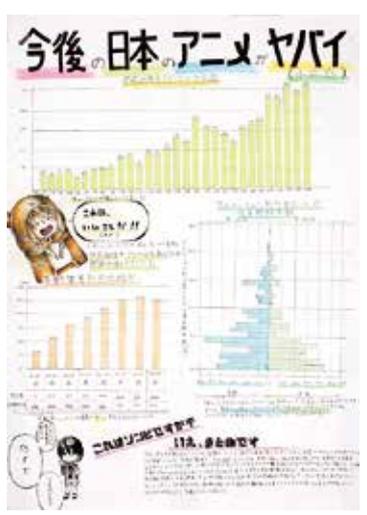
秋田県立
湯沢翔北高等学校 1年
おおもり れんか
大森 恋花さん

- ・仮説と結論が明確でわかりやすい。
- ・もう少し情報量があると良い。



秋田県立
湯沢翔北高等学校 1年
にいやま あかり
新山 愛花梨さん

- ・オリジナルのキャラクターを生かしており、グラフのコメントが自然に目に入る。
- ・楽しみながら作品を作っていることが伝わってくる。
- ・男女による違いについて、まとめがほしい。



秋田県立
湯沢翔北高等学校 1年
うえしま れん
上嶋 蓮さん

- ・ユニークな題材をよくまとめている。



秋田県立
湯沢翔北高等学校 1年
とよやま みずき
遠山 瑞葵さん

- ・グラフからわかることについて、丁寧に説明している。
- ・全体的に線が細いため、デザインを工夫することで、さらに見やすくなる。

パソコン統計 グラフの部 (小学生以上、一般)



秋田県立大館国際
情報学院中学校 2年
ささき かほ
佐々木 花萌さん

- ・クイズ形式になっており、ストーリー性がある。
- ・クラスメイトへの質問から始まり、設問のテンポが良い。
- ・配色やフォントの大きさなど、デザインの工夫をすると、もっと見やすくなる。
- ・テーマ設定の背景があるとよい。



秋田県立大館国際
情報学院中学校 2年
さとう ようた
佐藤 瑶太さん

- ・論旨が一貫しており、わかりやすい。
- ・グラフの選択が的確である。
- ・フォントの大きさなどを工夫すると、もっと見やすくなる。
- ・それぞれのグラフに対するまとめがほしい。



秋田県立大館国際
情報学院中学校 2年
わたなべ ゆめは
渡部 夢羽さん

- ・グラフから読み取ったことを適切にまとめている。



秋田県立大館国際
情報学院中学校 2年
かまや ふみと
釜谷 文人さん

- ・取材資料の対象期間が短く、長期的に分析すると違う結果になるのではないかと。



秋田県立大館国際
情報学院中学校 2年
さとう ひまり
佐藤 日葵さん

- ・経年比をしている点が良い。
- ・グラフの見せ方に工夫がほしい。

第69回 秋田県統計グラフコンクール募集要領

1 目的

統計に関する知識を広め、統計の表現技術を高めるため、県内の小学生以上の児童、生徒、学生及び一般から統計グラフ作品を募集し、優れた作品を表彰するほか、公益財団法人統計情報研究開発センターの主催する第67回統計グラフ全国コンクール（以下「全国コンクール」）中央審査へ出品する作品を選出します。

2 主催

秋田県

3 後援

秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、
秋田県教育研究会情報統計研究会

4 応募資格・課題・規格等

秋田県内に在学・在住する方で、かつ、部門ごとの応募資格に当てはまる方。

部 門	応募資格	課 題	規 格 等
第1部	小学校1、2年生	自由 ただし、小学校 4年生までの児童 のみで制作する 場合は、児童 が自ら観察又は 調査した結果を グラフにしたも のとします。	ア 規格仕上げ寸法 72.8cm×51.5 cm 1枚（B2判）。 縦横どちらでも可。 貼り合わせても B2判であれば可。 イ 紙質・色彩 自由 （白黒でも可）。 パネル仕上げしたり、 セロハンカバーを 掛けたりした作品は できません。 ウ 応募作品数 制限 なし。1作品が2枚以上 にわたる「シリーズもの」 は応募できません。 エ 制作者合作の場合 は5人以内。
第2部	小学校3、4年生		
第3部	小学校5、6年生		
第4部	中学校の生徒		
第5部	高等学校以上の生徒、 学生及び一般		
パソコン統計 グラフの部	小学校の児童以上		

注1 作品の一部分でもグラフ部分をパソコンで作成したもの（下書きしたものを含む）は、パソコン統計グラフの部となります。

注2 特別支援学校の場合は、応募資格の「小学校」「中学校」「高等学校」を、それぞれ「小学部」「中学部」「高等部」と読み替えてください。

5 提出先・締切日・送付方法・添付書類

- 提出先 秋田県企画振興部調査統計課
- 締切日 令和元年9月5日(木) 17:00 (必着)
- 送付方法 持参又は郵送等（宅配便を含む）
- 添付書類
 - ア 応募票（様式1）
 - イ 添付資料（6(1)ウ参照）
 - ウ 応募作品目録（様式2）

6 応募上の注意・指導上の注意

- 応募上の注意
 - ア 応募作品は、自分で創作したものに限りません。
 - イ 第三者（応募者以外の者をいう。）が作成したイラストや写真等を使用しないでください。
（利用許諾の有無にかかわらず、第三者が作成した著作物の全部又は一部の使用を禁止します。）
 - ウ 作品表面に記載する事項及び添付する資料は次のとおりです。

(区分) 調査方法別	作品表面に記載する事項	添付する資料
自己の観察又は調査 によった場合	観察又は調査の方法	観察又は調査の記録
外から資料を得た 場合	取材資料の出所・統計資料の時点	統計表（取材資料）

(2) 指導上の注意

- 児童、生徒を指導する際は、次のことについて特に留意してください。
- ア 資料の選択や取扱方法についての示唆、助言は差し支えありません。
- イ 表現（グラフ）は児童・生徒の自主性を尊重し、技法的に介入しないください。
- ウ 切り紙又は折り紙をのり付けした作品、絵の具やポスターカラーを厚く塗り重ねた作品などについては、はがれ落ちることがないように十分に指導、点検をしてください。

7 作品の審査

- 審査基準 応募作品は、次の基準によって審査します。

ア 共通 基準	(ア)誤りはないか	目盛り、単位の取り方、文字・数字、脱字、記入漏れ。
	(イ)書き落としはないか	資料の出所、観察・調査の方法。
	(ウ)的確か	見出し（主題）の表現、配色。
イ 各別 基準	(ア)1部・第2部	・身近な課題をとらえて、ふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。
	(イ)3部～第5部、 パソコン統計 グラフの部	・統計データを正しく理解して、グラフ化することによってデータの持つ事象が理解されやすくなるよう、工夫されているか。 ・訴えたい主題が的確にグラフに表れているか。また、主題は斬新で興味を喚起するものであるか。 ・パソコン統計グラフの部では、パソコンの機能を十分に活用しているか。

- 審査方法
主催者は審査会を実施し、入賞作品を決定するほか、全国コンクール中央審査に出品する作品を決定します。
- 審査員は、主催者が学識経験者及び行政機関の職員等に委嘱します。

8 入賞区分及び表彰

- 入賞区分
 - ア 特選 各部1作品以内（賞状及び副賞を贈呈）
 - イ 入選 各部2作品以内（賞状及び副賞を贈呈）
 - ウ 佳作 各部2作品以内（記念品を贈呈）
 - エ 努力賞 各部通して若干数（記念品を贈呈）
 - オ 参加賞 ア～エ以外の応募作品について、記念品を贈呈

- 表彰
各部特選及び入選は、令和元年度秋田県統計功労者表彰式（11月8日(金)）において表彰します。また、表彰式会場においては、特選及び入選作品を展示します。

9 入賞作品及び中央審査出品作品の発表

- 中央審査出品作品の発表は、審査会終了後、ホームページで行います。発表に当たっては、作品のテーマ、制作者の氏名、市町村名（在学者は学校名及び学年）を公表します。学校長又は本人にも通知します。なお、中央審査への出品にあたっては、全国コンクール募集要領別添2の個人情報取扱同意書の添付を求めます。
- 出品作品の発表、表彰、賞、返却、著作権その他については、全国コンクール募集要領によりま。

10 その他

- 中央審査出品作品は、県ホームページに掲載します。
- 著作権は秋田県に帰属します。また、統計の普及啓発目的のため、印刷物やホームページ等で使用する場合があります。
- 全国コンクールの入選作品については、翌年度末まで、その他の作品については、年度末まで返却します。
- 応募作品は審査のため複製します。また、作品内容及び応募作品目録書は調査統計課において統計資料として利用します。

第69回秋田県統計グラフコンクール 入賞作品一覧

部門	賞区分	全国出品	テーマ	氏名	学年	学校名等
第1部	特選	○	ねむくない男子、ねむい女子!?	武蔵 結心	2	秋田市立旭北小学校
	入選	○	すごいパワーだ!!ばくの大すきなはっこうしょくひん	萬田 歩喜	2	大館市立扇田小学校
	入選	○	タネとばしグランプリ	安達 歩美	1	秋田市立中通小学校

第2部	特選	○	英語を楽しもう	吉原 遥玲	4	大館市立扇田小学校
	入選	○	見て!見て!私の家庭学習	武蔵 理心	4	秋田市立旭北小学校
	入選	○	甘~い いちご つくりたい	新田 悠仁	4	仙北市立角館小学校
	努力賞		夏の「みそ」消費量調査	萬田 花歩	4	大館市立扇田小学校
努力賞		今年も熱かった!夏の甲子園の気になったこと	赤川 絢甫	4	大仙市立四ツ屋小学校	

第4部	特選	○	色 color 広まるイメージ	佐藤 亜紀	3	大館市立比内中学校
				堀口 怜泉	3	
	入選	○	これからどうする 増え続ける空き家	鎌田 日和	3	大瀧村立大瀧中学校
	入選	○	新聞離れの実態調査	嵯峨 恵利菜	1	大仙市立西仙北中学校
			菅原 実乃	1		

第5部	特選	○	ユニバーサルデザインフード	山田 瑞稀	1	秋田県立湯沢翔北高等学校
	入選	○	日本でどのくらいスマホを持っている人がいるか知ってる?	大森 恋花	1	秋田県立湯沢翔北高等学校
	入選	○	グラフで分かる!日本男女のマンガ事情	新山 愛花梨	1	秋田県立湯沢翔北高等学校
	佳作	○	今後の日本のアニメがヤバイ(小並感)	上嶋 蓮	1	秋田県立湯沢翔北高等学校
	佳作	○	本のこれからー紙の本と電子書籍	遠山 瑞葵	1	秋田県立湯沢翔北高等学校
努力賞		日本の平均寿命について	山田 愛華	1	秋田県立湯沢翔北高等学校	
努力賞		今後どうなる!?~秋田県の人口問題~	高橋 夢叶	1	秋田県立湯沢翔北高等学校	

パソコン統計グラフの部	特選	○	『食料自給率』の低下が意味することは?	佐々木 花萌	2	秋田県立大館国際情報学院中学校
	入選	○	これからどうなる?地球温暖化	佐藤 瑠太	2	秋田県立大館国際情報学院中学校
	入選	○	スマホ事情どうなっているの?	渡部 夢羽	2	秋田県立大館国際情報学院中学校
	佳作	○	地震の知識はどれくらい?日本と世界の地震情報!	釜谷 文人	2	秋田県立大館国際情報学院中学校
	佳作	○	起床、就寝の推移は?	佐藤 日葵	2	秋田県立大館国際情報学院中学校
	努力賞		今も苦しんでいる 動物たち	岩澤 真紗希	1	秋田県立大館国際情報学院中学校
				村木 悠奈	1	
	努力賞		あなたの将来就きたい職業は...?	安部 佑香	1	秋田県立大館国際情報学院中学校
			小林 侑愛	1		

そのほかの応募作品(参加賞)

※グラフの作成にパソコンを利用したのについては、パソコン統計グラフの部として審査を行ったため、当初の応募区分と異なる場合があります。

【第5部】

- ・少子高齢化の実態 in 湯沢
- ・高校生の1日のスマホの利用時間
- ・少子高齢化は大丈夫?
- ・高校生のスマホ事情
- ・日本の少子高齢化
- ・1日どのくらいスマホ見ている?
- ・高校生 スマホの使い方~使用時間と睡眠~
- ・中高生のスマホ依存について
- ・朝食について
- ・税についてどう思う?
- ・秋田県の人口減少率と投票率について
- ・秋田の「将来」を考える~人口減少と若者~
- ・日本の借金について考える
- ・秋田県の人口は減少しているのか
- ・命を授かるということの重み
- ・天気と気温の変化!!~in秋田~
- ・果物を食べる頻度
- ・ゴミの排出量について
- ・高校生に人気の部活は?
- ・あなたがつきたい職業は?
- ・~高校生のなりた職業~
- ・教えて!秋田の良い所
- ・歩数の平均を調べてみて
- ・秋田県の未来
- ・年々増え続ける児童虐待の実態
- ・インターネットの利用時間と視力低下
- ・進む高齢化社会
- ・あなたの力が必要です!
- ・世界の消費税について~世界の現状~
- ・日本の魅力
- ・秋田県の自殺率はどのように変化しているのだろうか?
- ・消えゆく命を救え
- ・世界の森林の減少と原因
- ・小中高生のインターネット利用
- ・高校入前~夏休み中の自分の体重の変化
- ・秋田県の人口減少と少子高齢化
- ・年代別投票率と政策について
- ・高校生の学校・勉強時でのスマートフォン利用実態
- ・日本の平均寿命は?
- ・少子高齢化
- ・第95回箱根駅伝、出場選手シューズ(メーカー)使用率
- ・動物の愛護について

- ・稀にいる左利き
- ・夏の全国高校野球選手権大会
- ・高校生の悩みと相談先
- ・朝食摂取状況
- ・高校卒業後の進路
- ・投票率、年代の差どうなるか?
- ・高校卒業後の進路
- ・コンビニエンスストアの利用率
- ・どんなお菓子が好き?
- ・年代別投票率
- ・それネット中毒だよ
- ・ガンとは~秋田の多い病気について~
- ・ネット・スマホ中毒
- ・油断は「禁物」高齢者の交通事故事情
- ・~1日のスマホの利用時間について~
- ・秋田県の人口減少
- ・パンとごはんどっちが多い!?
- ・日本の借金について考える
- ・どうなる高齢化?
- ・東京オリンピック どう考えてる?
- ・スマートフォンの使い方と利用時間
- ・いじめは絶対にいけないこと
- ・SNSの普及率について
- ・秋田県の魅力とは?
- ・エネルギーの消費と節電
- ・スマートフォンの使用状況について
- ・みんなはしてる?古着リサイクル
- ・日本の少子高齢化
- ・犬からのSOS 守る大切な命
- ・今のくらしで大丈夫?~地球にあたる悪影響~
- ・日本は本当に安全なのか?
- ・子どもがやっていた習いごと
- ・中学校の部活で人気な運動部
- ・人のストレス解消法
- ・グラフで分かる!!~日本の不登校の推移~
- ・その生活 本当に大丈夫? ~スマホとこれからの僕達~
- ・いじめ!?~世界から無くそう!~
- ・日本の死亡率(出生数)
- ・ゲーム売り上げ 2011年~2018年
- ・野球のバッティングの際のカウントは打率と関係性がある?
- ・速球派と技巧派の違いとは?
- ・高校生は本を読む?
- ・活躍していると思う女性アイドルグループランキング
- ・ゲーム売り上げが一番売れている所はどこだろう
- ・日本の自然エネルギーの割合は?
- ・スマートフォンと睡眠時間~高校生の現状~
- ・アイスの消費量

- ・スナック菓子人気ランキング
- ・秋田県の血液型の割合
- ・インスタVSツイッター
- ・夏の気温について
- ・日本における死亡率
- ・日本への観光客ランキング
- ・秋田県の今と昔の人口の割合より
- ・食品ロスの現状を知る
- ・二酸化炭素の排出量と私たちの暮らし
- ・少子高齢化の現状
- ・高齢者の事故率
- ・スマホの使用率について
- ・iPhoneとAndroidどっちが多い?
- ・18歳からの選挙権 君も行く投票へ!
- ・中高生のスマホの使用時間
- ・減らそう!!プラスチックゴミ
- ・交通事故率について
- ・加速する地球温暖化
- ・朝食はパンかごはんか?
- ・日本のスマホ市場
- ・主な死因別乳幼児死亡率のグラフを見て分かったこと、思ったこと
- ・児童虐待件数と被害者数
- ・秋田県が死亡率
- ・日本人の死亡原因
- ・日本と外国の税金の比較
- ・若者の投票率が低いのはなぜか
- ・スマートフォンの利用率と年代
- ・秋田県の人口減少
- ・気温を比べる
- ・地球温暖化を止めよう
- ・秋田県の人口について

【パソコン統計グラフの部】

- ・都会派 VS 田舎派
- ・どうなる高齢者の交通事故
- ・理想の先輩とは何か?
- ・みんなの「家での勉強時間」
- ・日本に来る外国人観光客
- ・僕、私は将来についてどう考える!!
- ・スマホを持っている中学生はどれくらい?
- ・「災害」について自分の考えを見直してみよう
- ・気づいてる?あなたを蝕むストレス ~もしかして...?~
- ・地獄への片道切符「乗物」
- ・どうしてがんになるんだろう?
- ・いじめと向き合うためには?
- ・秋田県の減り続ける人口
- ・どんな動物を飼っているか

作品全体を通じた講評として、自分の好きなことをテーマとして、他人から見やすく、わかりやすいグラフ作りに取り組んだ作品が入賞作品に選ばれました。

正確なグラフ作りだけでなく、デザインを工夫することで、自分の考えをより正確に伝えることができます。

秋田県では出前講座として「統計グラフコンクール準備講座」を行っていますので、ご活用ください。

なお、掲載作品を複製・転載する場合は、「秋田県統計グラフコンクール作品転載承諾申請書」により申請願います。

第69回 秋田県統計グラフコンクール 作品集

2019年11月8日発行

秋田県企画振興部
調査統計課

〒010-8570

秋田市山王四丁目1-1

tel 018-860-1251

秋田県公式Webサイト

「美の国あきたネット」

<http://www.pref.akita.lg.jp>